

目的

知的財産部門は、本学における学術研究の発展を側面から支援するとともに、知的財産権、研究成果有体物その他の研究成果を礎に産官学連携・地域連携を牽引し、社会へ還元することを目的とする。

基本方針

①本学における学術的知見及び基盤的技術を知的財産権として確立する。

知的財産部門では、本学における基礎的・学術的研究の成果を国内外の知的財産権として確立することを通して、産業界と共同で、イノベーションの創出に向けた技術基盤の構築に寄与することを基本方針の第一とする。

②本学における知的財産を産業及び学術研究の発展のために活用する。

学術研究の領域を確保しつつ、産業界の競争力強化のため、その手段（産業界との共同研究、その結果生じた知的財産の実施許諾及び権利譲渡、大学発ベンチャー起業等）として、本学の知的財産を活用することに取り組む。

③本学における研究・開発を知的財産の側面から支援する。

本学で実施されている外部機関との連携により必要とされるライセンス、共同研究、成果有体物等の知的財産に関する渉外事項を円滑に進め、学内の学術研究レベルの向上を図るとともに、産業界との協業を積極的に支援する。

またその一方で、学内外の秘密情報を適切に管理し、良好な共創環境を維持・発展する風土を確立する。

取組事項

①学内外の研究者とのコミュニケーションを緊密にし、知的財産・産学連携の視点から研究に関与する。

- (1) 研究者、学生並びに共同研究先企業（特に県内）の知的財産への認識を高める。
- (2) 優れた研究成果を知的財産権として確立する。
- (3) 研究成果有体物、生物遺伝資源の効率的な管理を実施する。
- (4) 研究上のリスク（契約交渉、他人の知的財産権侵害、利益相反、秘密情報漏えい等）を事前に察知し、適切に対応する。

②積極的な情報発信及び技術面談等を実施し、学術研究の成果を社会に還元する。

- (1) 知的財産権の実施許諾・権利譲渡、研究成果有体物提供による研究成果の社会実装を図る。
- (2) 共同研究、競争的資金獲得により、実用化研究を推進する。

③産学官リスクマネジメント室へのサポート部署としての協力。

- (1) 産学官連携リスクマネジメント室が取り組む、リスクマネジメント事業の学内周知・啓発のサポート。
- (2) 試行期間から本格始動まで、円滑な運用面でのサポート。

④産学連携部門担当者との実務協力体制を強化する。

- (1) 国内外の産学官連携研究の動向及び知的財産活用動向を把握し、本学の研究並びに研究成果の学内へのアピール等に対して適切な支援を行う。
- (2) 産学官連携関係の諸規約並びに社会動向に関する情報を適宜入手し、迅速に対応する。
- (3) 規制法令等の知悉度を高め、研究、産学連携を円滑に推進する。